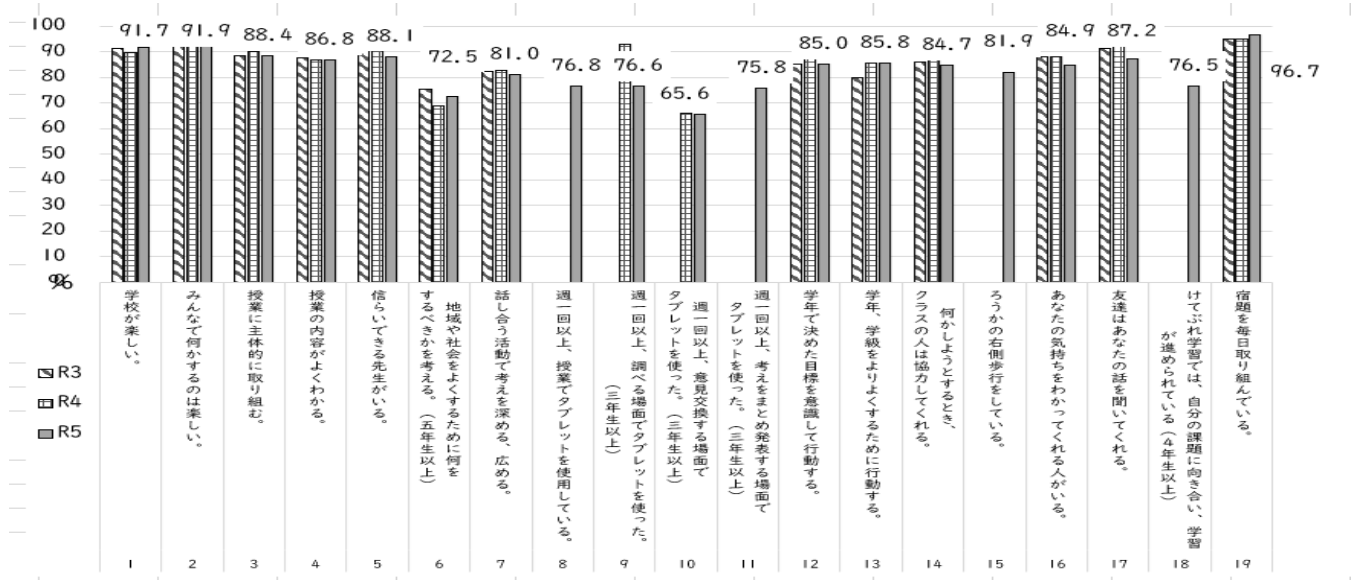


## 令和5年度 菊川市立六郷小学校 児童・保護者アンケートの結果

2学期末には、アンケートへの御協力ありがとうございました。アンケート結果を全職員で分析し、成果と課題を明らかにしました。そして、今後どのように取り組んでいくか、検討を重ねてきました。ここでは、アンケート結果と、その分析・考察を報告します。

### 1 児童アンケートの結果

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えた人の割合 【児童】



※8、11、15、18は新規の質問のため、経年比較はありません。

○「1 学校が楽しい」「2 みんなで何かをするのは楽しい」「5 信頼できる先生がいる」の各項目の結果から、子どもはおおむね安定した学校生活を送ることができていると考えます。授業を通して、子どもがより強く、たくましく自己実現への歩みを進められるよう教職員一同努めて参ります。

○「19 宿題を毎日取り組んでいる」の数値がとても高いです。御家庭での御協力があったとのことと思います。引き続き、見届けをお願いするとともに、今までの見届けについて感謝申し上げます。

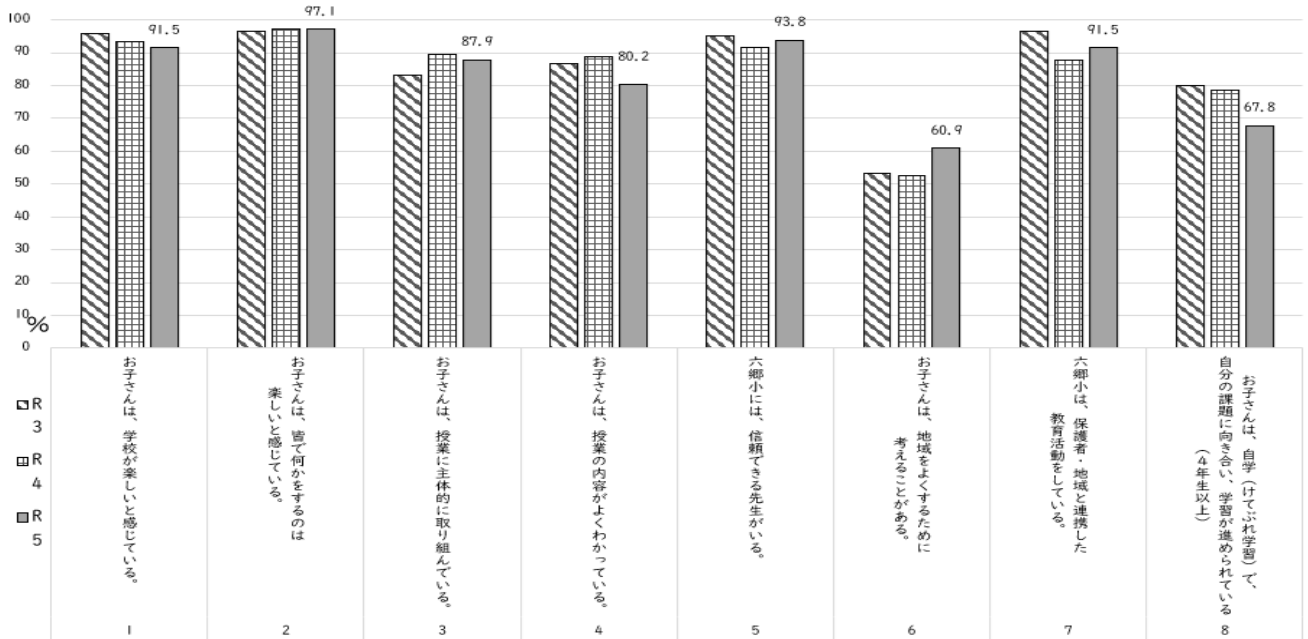
●「16 あなたの気持ちを分かってくれる人がいる」「17 あなたの話を聞いてくれる」の数値が減少しました。子どもが安心して学校生活を送るためには、友達や教職員の存在はとても大きいものです。一人一人が、思い受け止めてもらっているという安心感を得られるよう、学校生活の基本となる授業において「聞く」指導に重点を置き指導していきます。

●タブレットは、多くの授業で活用していますが、まだまだ不慣れな面があったり、接続等のトラブルがあったりと、使用することを躊躇する場面も見受けられます。教職員のICT活用の研修や子ども自身のタイピングスキルの向上、環境整備といった様々な面からのアプローチが必須と考えます。

●「18 けてぶれ学習では、自分の課題に向き合い、学習が進められている」については、本年度からの試みです。今までの本読み・漢字・計算といった、与えられた学習から自ら考え取り組む学習へと転換が求められています。宿題の在り方を見直し、その必要性を実感し取り組めるよう引き続き支援が必要であると考えます。

## 2 保護者アンケートの結果

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えた人の割合 【保護者】(回答率47.6%)



- 「1 学校が楽しいと感じている」「2 皆で何かをするのは楽しいと感じている」「5 信頼できる先生がいる」について、多少の増減はあるものの高い評価をいただきました。学校生活は、楽しいことばかりではないと思いますが、保護者の目線から子どもの姿が肯定的に捉えられていることは何よりありがたいことです。子どもの更なる成長に向けて努めて参ります。
- 「6 地域をよりよくするために考えることがある」の数値が向上しました。総合や生活科の学習を通して、地域の方の教えを受けたこと、体験を伴う授業に取り組んでいる成果であると考えられます。次年度も、子どもが地域と密接に関わり、必要感をもって取り組める授業を構想していきたいと考えます。その際は、子どもの本物体験へとつながるよう御協力いただけたら幸いです。
- 家庭学習について、昨年度から「宿題から自主学習へ」と舵を切っております。自主学習は、自分が得意なところや苦手なところを意識しながら、自分の計画やペースで学習を進めることができます。一方で、「8 自学(けてぶれ学習)で自分の課題に向き合い、学習が進められている」の数値が7割弱であったことを考えると、子どもへのより丁寧な支援が必要かと考えます。自主学習の内容や取組方法等について例示したり、模範になるようなノートを掲示したりして、学習を支援するようにしていますが、子ども自身が必要性を感じて取り組めるために、もう一歩踏み込んだ指導が必要と考えます。自学(けてぶれ学習)以外の日々の宿題の提出でさえ難しい児童も見られることも考えると、個々によって対応をとっていく必要もあるかと考えています。
- 「4 授業の内容がよくわかっている」の数値が減少しています。学力保障は、教職員としての責務です。日々の授業で、子どもの定着をより丁寧に見取り、どの子も「わかった」「できた」と学びの実感を得られる授業づくりに努めて参ります。